

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

鳥取県立米子東高等学校

重点項目	英語教育重点校	提出日	令和5年4月14日
------	---------	-----	-----------

1 学校目標	
<p>1 主体的な学びの推進</p> <p>(1) ICTを活用したアクティブ・ラーニング等による授業改善と適切な評価</p> <p>(2) SSH事業に取り組むことで、科学的探究心・情報発信力・実践力を身につけ、よりよい社会の実現を目指すチャレンジャーを育成</p> <p>(3) 目標に向かって努力する生徒を育成する進路指導の充実</p> <p>2 豊かな人間性の育成</p> <p>(1) 主体的・自律的態度の育成</p> <p>(2) 部活動の推進</p> <p>(3) 体験的な学びの推進</p> <p>3 生徒・保護者・地域に信頼される学校</p> <p>(1) PTA活動の推進</p> <p>(2) 地域への発信(学校運営協議会の推進)</p>	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>1 知識・技能を確実に習得させ、それらを活用して、自分の力で考えをまとめ、相手が理解できるように根拠を示して説明できる思考力・判断力・表現力を重視した授業を行う。</p> <p>2 「生徒に何を教えるか」という知識の質や量とともに、「生徒にどのように学ばせるのか」という学びの質や深まりを重視した授業を行う。</p> <p>3 AI社会に対応して、ICTを活用した「アクティブ・ラーニング」型授業によって、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。</p> <p>4 「主体的に学習に取り組む態度」や「思考力・判断力・表現力」について、生徒の学習活動におけるパフォーマンスから評価する「パフォーマンス評価」を行うことによって可視化し、全体の評価に反映させる。</p> <p>5 国際交流事業や外部コンテスト等への参加を通して、体験的な学びを推進するとともに、英語による実践的なコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>&lt;数値目標&gt;</p> <p>1 授業アンケート</p> <p>(1) 「この授業はICTを活用したものになっていた」の問いに、肯定的な回答が生徒の80%以上</p> <p>(2) 「この授業はアクティブ・ラーニングの手法を取り入れたものになっていた」の問いに、肯定的な回答が生徒の80%以上</p> <p>(3) 「この授業は思考力・判断力・表現力の養成を重視したものだった」の問いに、肯定的な回答が生徒の85%以上</p> <p>(4) 「この授業のパフォーマンス評価は課題設定も評価も適切なものだった」の問いに、肯定的な回答が生徒の85%以上</p> <p>2 学校満足度アンケート</p> <p>(1) 「授業では生徒同士の話し合いや発表がよく行わ</p>	<p>1 オール・イングリッシュの授業を行い、思考力・判断力・表現力を伴う場面や活動を授業内に取り入れることを継続している。</p> <p>2 学年ごとの教科会により、教材や題材の分析や生徒の学習活動を精査し、組織的、計画的に深い学びのできる授業を実現している。</p> <p>3 Google Classroomを用いたオンライン授業や課題提出など、パワーポイントを活用した授業に加えて、ICTを活用した深い学びに向けた方策を研究し授業改善に活かした。</p> <p>4 全体の評価点のうち、20%程度を自由英作文やスピーキングテスト等の「パフォーマンス評価」にあてて、生徒の「関心・意欲・態度」や「思考力・判断力・表現力」を評価した。</p> <p>5 中止となる事業も多かったが、海外交流も実施することができ、生徒が体験や表現することが可能となり、生徒の意欲を高めることができた。</p> <p>&lt;数値結果&gt;</p> <p>1 授業アンケート</p> <p>(1) 「この授業はICTを活用したものになっていた」の問いに、肯定的な回答が生徒の78%</p> <p>(2) 「この授業はアクティブ・ラーニングの手法を取り入れたものになっていた」の問いに、肯定的な回答が生徒の84.2%</p> <p>(3) 「この授業は思考力・判断力・表現力の養成を重視したものだった」の問いに、肯定的な回答が生徒の90.6%</p> <p>(4) 「この授業のパフォーマンス評価は課題設定も評価も適切なものだった」の問いに、肯定的な回答が生徒の96.3%</p> <p>2 学校満足度アンケート</p> <p>(1) 「授業では生徒同士の話し合いや発表がよく</p>

<p>れているか」の問いに、肯定的な回答が生徒の80%以上</p> <p>3 各種試験及び各種事業参加者数</p> <p>(1) GTEC</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次生 TOTAL スコア810点 (A2.2) 以上 200名以上</li> <li>・2年次生 TOTAL スコア960点 (B1.1) 以上 120名以上</li> </ul> <p>(2) 大学入学共通テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次生 英語校内平均点：全国平均点+10点</li> </ul> <p>(3) 高校生英語弁論大会及びグローバル・リーダーズ・キャンパス申込者数10名以上</p>	<p>行われているか」の問いに、肯定的な回答が生徒の87.5%</p> <p>3 各種試験及び各種事業参加者数</p> <p>(1) GTEC</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次生 TOTAL スコア810点 (A2.2) 以上 199名</li> <li>・2年次生 TOTAL スコア960点 (B1.1) 以上 124名</li> </ul> <p>(2) 大学入学共通テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次生 英語校内平均点：全国平均点+12.1点 (リーディング)</li> <li>12.4点 (リスニング)</li> </ul> <p>(3) 高校生英語弁論大会及びグローバル・リーダーズ・キャンパス申込者数15名</p>
<p>3 実施事業</p>	
<p><b>【高等学校課事業】</b></p> <p>1 外部人材活用事業</p> <p>(1) 社会人講師活用事業 中国語の講師を招聘し、台湾桃園市立陽明高級中学との交流についての事前学習会を開催する。 →中止</p> <p>2 新しい学びの創造事業</p> <p>(1) 「主体的・対話的で深い学び」教員スキルアップ事業 クロームブックをはじめICTを活用することで、取り組んでいるアクティブ・ラーニングをより効果的なものにするため、専門家を招聘しその理論と実践方法を学ぶ。</p> <p><b>【独自事業】</b></p> <p>1 アクティブ・ラーニング推進事業</p> <p>(1) ICT活用推進事業 ICTを活用した授業において高い教科指導力を有する教員による示範授業を実施したり、先進的な取組を実践している高校を訪問することにより、教員の教科指導力・ICT活用能力を向上させる。</p> <p>(2) 探究的な学習の推進 「課題探究発展」における英語による口頭発表手法の指導を受け、生徒の英語での表現力・発信力を向上させる。</p> <p>2 英語力向上事業</p> <p>(1) 英語教員研修 英語教育に関する研修会や授業研究会に参加して、英語4技能についての指導力を向上させる。</p> <p>3 国際交流事業</p> <p>(1) 台湾桃園市立陽明高級中学の訪問 台湾の姉妹校を訪問し、語学力や積極性の重要性を再認識するとともに、広い視野を持って異文化を理解しようとする生徒を育成する。</p> <p>4 世界で学ぶ Tickets-to-the-World 事業</p> <p>(1) Tickets-to-the-World Library 身近な生徒の留学報告を聞くことで、多くの生徒が留学や海外体験に関心を持ち、英語や異文化理解に対する意欲を高める。</p>	
<p>4 総合所見 (成果・評価)</p>	
<p><b>【高等学校課事業】</b></p> <p>1 外部人材活用事業</p> <p>(1) 社会人講師活用事業 新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため台湾桃園市立陽明高級中学との交流を中止した。</p> <p>2 新しい学びの創造事業</p> <p>(1) 「主体的・対話的で深い学び」教員スキルアップ事業 学校独自事業により「ICTを活用したアクティブ・ラーニング教員研修会」を実施した。</p> <p><b>【独自事業】</b></p> <p>1 アクティブ・ラーニング推進事業</p> <p>(1) ICT活用推進事業 クロームブックをはじめICTを活用することで、取り組んでいるアクティブ・ラーニングをより効果的なものにするため、県外から専門家を招聘し、その理論と実践方法を学んだ。</p> <p>(2) 探究的な学習の推進</p>	

「課題探究応用」における英語によるプレゼンテーションに関し、講師に9回、20時間にわたり指導を受け、発表力の向上を図った。

2 英語力向上事業

(1) 英語教員研修

英語教育に関する研修会や授業研究会に参加して、英語4技能についての指導力を向上させた。

3 国際交流事業

(1) 台湾桃園市立陽明高級中学の訪問

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため台湾桃園市立陽明高級中学との交流を中止したが、前年度に引き続きオンライン交流を実施した。

4 世界で学ぶ Tickets-to-the-World 事業

(1) Tickets-to-the-World Library

グローバル・リーダーズ・キャンパス受講者4名による英語での発表を行い2日間で47名の生徒が参加した。また、日独学生青年リーダーオンライン交流参加者による報告を行い15名の生徒が参加した。